

宗谷シーニックバイウェイ

北海道

地域のねらい

テーマ: あたたかい最北のみち

- ・シーニックバイウェイの活動により、日本最北の地域という距離的ハンデを克服し、地域ならではの魅力づくりを目指す。また、道路ばかりではなくフェリー航路もバイウェイとして位置付け、宗谷らしい独自の魅力を演出していく。

活動エリアと地域資源

～活動エリア～

- ・日本の最北端、宗谷支庁に位置し6市町村にまたがるエリアです。基幹ルートとして一般国道自動車専用道路である豊富バイパス、豊富町から稚内市に向かう国道40号、稚内市から猿払村に向かう国道238号のほか、道道や利尻島・礼文島を結ぶフェリー航路があります。

～地域資源～

- ・夕日によってドラマチックなシーンを演じる利尻富士を有する宗谷は、最北の街稚内市や花の浮島と謳われる礼文島、そして広大な高層湿原であるサロベツ原野、日本一広大な酪農とホタテが名産の猿払村が、北緯45度の日本最北エリアを形成している
- ・豊富な海産物を活用した「食」を中心としたイベント、固有種を保全するための環境保全・啓発、冬の観光促進のための雪上でのイベント等が開催されている

地域の活動推進体制

「ルート運営代表者会議(活動団体21団体)」

「ルート運営行政連絡会議(国土交通省、北海道、関係市町村他)」

地域資源、活動内容



礼文の高山植物



サロベツの湿地植物



宗谷丘陵の周水河地形



海に浮かぶ利尻富士



日本海vsオホーツク海グルメ対決



エコレージ ～ 環境学習ドライブ



流木プランターの作成

日本海の食材、オホーツク海の食材を活用して鍋対決を行った。
つみれ鍋対決(ホッケつみれ鍋vsサケつみれ鍋)、カニ鍋対決(タラバ鍋vs毛ガニ鍋)、貝の洋食対決(ホッキカレーvsホタテシチュー)

宗谷の素晴らしい自然と風光明媚な最北の景観を維持していくために、「エコ」と「観光」をテーマにしたドライブ観光を通じて、今後の環境観光という評価や改善点などを実際に体験していただき調査している。